

4・28 “屈辱の日”沖縄連帯「講演会」

「沖縄は訴える」

沖縄県民の民意と我が国の民主主義・地方自治

★とき 4月28日(金) 18時半~20時15分

★ところ ITビジネスプラザ武蔵6階

講 師 仲里 利信 衆議院議員(無所属 沖縄4区)

“オール沖縄”で自民現職を破った仲里さんが駆けつけてくれます。またとない機会です。多くの方に参加を呼びかけ大きく成功させましょう!。

「米騒動・横浜事件」の地で共謀罪の危険性学ぶ

4月9日、県平和委員会の「平和の旅パート14《とやまの史跡探訪》」が行われ、28名が参加しました。

最初に、「米騒動」発祥の地の魚津市内の史跡を見学。そして「泊・横浜事件」の舞台となつた朝日町の旅館・紋左別館で「細川嘉六ふるさと研究会」代表の金澤敏子さんから、当時の新聞記事をもとに、言論弾圧の泊・横浜事件について、ジャーリストの視点でお話を聞きました(北陸中日新聞は、12日付社会面トップで報道)。写真は「泊・横浜事件」記念碑。

昼食の後、細川嘉六のお墓を案内してもらいました。帰路、富山市内の「イタイイタイ病資料館」を見学し、「ますのすしミュージアム」でお土産を求めました。車中、富山大空襲と不二越強制労働問題について山野健治事務局長が解説しました。

詳しくは、裏面に掲載した2人からの感想文を参照ください。

**共謀罪 なんとしても阻止**

各界からの様々な反対にも関わらず、本有的人権を抹殺する恐るべきものです。自・公政権は3月21日国会に「共謀罪」

この法律のデタラメぶりとその内容の危険性は、戦前の「治安維持法」の再現ともいわれ、日本の民主主義・基

全国で闘いが広がっています。↑

核兵器なくせ！「国民平和大行進」県内コースが6月11日輪島市を出発。17日に俱利伽羅峠で富山から引き継ぎ、24日に福井ヘバトンタッチします。

今年の通し行進者は85歳になる山口逸郎さん。サポートする県内通し行進者を募集中。

【能登コース】●6月11日④10時に輪島市役所をスタート。14時、宇出津駅～能登町役場。●12日④9時、珠洲市内。11時～穴水町内。13時半～志賀町内。15時半～中能登町内。18時～七尾市市内。○13日は休息。●14日④15時～宝達志水町内。18時～羽咋市市内。●15日④17時半 かほく市内役所。●16日④18時 内灘町内。

【富山～広島コース】●6月17日④11時半 県境の九折で富山県から引き継ぎ～津幡町役場。●18日④9時半 津幡駅前～森本駅。同14時 卵辰山「平和の子ら像前」～金沢市役所。●19日④10時半 森本駅～城北クリニック。同18時 金沢市役所～有松。●20日④9時半 有松～野々市市役所。同13時半 野々市市役所～白山市役所。●21日④9時 白山市役所～川北町役場～能美市役所。●22日④9時 能美市役所～寺井病院～小松市役所。●23日④10時 小松市役所～今江町。●24日④9時 加賀市役所～吉崎で福井県ヘバトンタッチ

◆当面の主な活動予定◆

- ◆4月26日(水)「共謀罪廃案！怒りの昼デモ」13時、四高公園～武蔵
- ◆4月28日(金)「沖縄連帯・講演会」18時半、ITビジネスプラザ武蔵
- ◆5月1日(月)「第88回メーデー」10時、本多の森公園
- ◆5月3日(水・祝)「平和憲法施行70周年記念石川県民集会」14時、本多の森ホール
- ◆5月9日(火)「6・9署名行動」12時、エムザ前
- ◆5月11日(木)「沖縄支援ツアー」14日まで
- ◆5月15日(月)「沖縄連帯街頭宣伝」12時、エムザ前
- ◆5月19日(金)「戦争法を許さない！ピース・テント」16時、四高記念公園口
- ◆5月20日(土)「県平和委員会総会」14時、近江町交流プラザ
- ◆5月25日(木)「小松基地爆音訴訟公判」13時半、金沢地裁

✓ 県内でも早急に運動を広げるため、平和委員会が先頭に立って奮闘しよではありませんか。

小松基地に「抗議」の申し入れ

度重なる「事故」に対し、3月3日と4月7日に航空自衛隊小松基地へ「抗議と原因究明、住民への公表、飛行の中止など」を申し入れました。同時に、従前の申し入れに対する回答がないことにも強く抗議して、報告するよう要求。3日は、テレビ局3社と新聞3社の取材を受けました。

**「ヒバクシャ国際署名」
7月に向け旺盛に取り組もう**

3月27日から、国連の「核兵器禁止条約締結のための会議」が開かれ、被爆者など日本の市民団体が、世界各国の代表に「核兵器は非人道的」と訴え、賛同の世論を広げました。

そして、第2期(6月～7月)の会議で、実効性のある禁止条約が実現する可能性が生まれています。

「ヒバクシャ国際署名」を旺盛に取り組みましょう。(ウラヘツヅク)

目標は会員1人5筆。

共謀罪の危険性
「米騒動」「横浜事件」の地で学ぶ

4月9日、県平和委員会の「平和の旅 パート14《とやまの史跡探訪》」が行われ、マイクロバス一杯の28名が参加しました。

最初に、越中の女一揆と呼ばれている「米騒動」発祥の地の魚津市内の史跡を見学。そして「泊・横浜事件」の舞台となった朝日町の旅館・紋左別館で「細川嘉六ふるさと研究会」代表の金澤敏子さん(「米騒動とジャーナリズム」執筆者の一人)から、当時の新聞記事をもとに、言論弾圧の泊・横浜事件について、ジャーリストの視点からのお話しを聞きました(北陸中日新聞の取材を受け、12日付社会面トップに掲載されました)。

昼食の後、細川嘉六(政治学者、評論家)のお墓を案内してもらいました。帰路、富山市内の「イタイイタイ病資料館」を見学し、「ますのすしミュージアム」でお土産を求めました。

車中、富山大空襲と不二越強制労働問題について山野健治事務局長が解説しました。

今回の企画で1名が入会されました。

(石川県平和委員会 山野事務局長)